

教育用語辞典

「教育用語辞典」第31回です。今回は二択問題です。「一内に入る正しい言葉は、AかBかどちらでしょうか。」

【教員免許の国家資格化】

〔ぎょういんめんきよのこつかしかくか〕

レベル★

学校の教員免許を「国家資格化」しようとするもの。教員の【A資質 B意欲】向上を図ることをねらいとし、自民党の教育再生実行本部が提言する。現在、教員免許は、大学で教員養成課程を修了すれば、卒業時に【A文部科学省 B都道府県教委】から与えられる。これを、大学で教員養成課程を履修した後に、国家試験と一定の研修期間を経て免許を取得するようにしようとするもの。今後、文部科学省では中審査などで、制度導入の可否等を検討する。

【社会的ひきこもり】

〔しゃかいてきひきこもり〕

レベル★★

「社会的にひきこもっている状態」のこと。斎藤環氏が著書の中で用いた言葉で、氏は「A20代後半 B10代後半」までに問題化し、6カ月以上、自宅にひきこもって社会参加をしない状態が持続したもので、ほかの精神障害が第一の原因とは考えにくいもの」と定義している。なお【A厚生労働省 B文部科学省】の「ひきこもり」の定義は「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」である。

【子どもの貧困率】

〔こどものひんこんりつ〕

レベル★★★

18歳未満の子ども全体に占める、「等価可処分所得」が「貧困線」に満たない子どもの割合をいう。「等価可処分所得」とは、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の【A二乗 B平方根】で割って調整した所得のこと。また「貧困線」とは、一人ひとりの等価可処分所得を順番に並べたときに、真ん中にある値の半分の額をいう。2012年には16・3%と過去最悪を更新し、子どものうち【A4人 B6人】に1人が貧困という結果となっている。



【解答】

【教員免許の国家資格化】 A B

【社会的ひきこもり】 A A

【子どもの貧困率】 B B